この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 急性心筋梗塞後心室中隔穿孔の手術成績についての後ろ向き研究
	●研究の対象 2011 年 1 月～2028 年 12 月に当院で心室中隔穿孔修復術を受けられた方もしくは受けられる方　20 名
	●研究の目的 急性心筋梗塞後の心室中隔穿孔は生命を脅かす重篤な疾患であり、早急な治療が求められます。 従来は心室中隔穿孔の患者に対し緊急手術を行うことが原則でありましたが、近年では Impella という補助循環装置を挿入して血行動態を安定化させることで待機手術を行う方法も選択されてきており、最適な治療戦略は議論が分かれます。 心室中隔穿孔に対する治療として従来の緊急手術を受けた患者と Impella を用いた待機手術を受けた患者の転帰を比較し、最適な治療戦略を探求します。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2028 年 12 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又	●研究に使用する試料・情報

は提供する試料・情報の項目≫	情報：病歴、治療歴、カルテ番号、手術情報、検査結果 試料：なし
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学　第一外科　平野雅大
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	浜松医科大学　第一外科　平野雅大
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	部署名：　第一外科(心臓血管外科)
	担当者：　平野雅大
	TEL：　053-435-2111
	E-mail：　masahiro@hama-med.ac.jp